

日韓の文化および学術交流に関する日韓社会学会 声明
—日韓両国の学問的、文化的交流の発展的再開を求める—

2020年初頭からのCOVID-19感染拡大は、日韓両国間の移動を断絶し、いまでもその状態が続いています。日本と韓国の間には、経済的摩擦と政治的葛藤を理由に、感染拡大の前から交流の停滞がみられ、2019年9月、日本社会学会と韓国社会学会は相互理解と対話に向けた緊急のメッセージを共同で発出しました。感染拡大によりやく出口が見え始めたこのタイミングに当たり、パンデミックを乗り越えて、日本と韓国の相互理解と対話がより深まっていくことを願い、改めて共同のメッセージを發します。

Covid-19が国民の生命と直結した危機であることは、疑いのない事実です。そのため、日韓両国は防疫に力を注いできました。COVID-19を克服していくために、両国の社会は、ワクチン接種を含むさまざまな努力を重ね、その結果、ワクチン接種率は両国ともに高い水準に達しました。これは、防疫の規則を遵守しながら、日常を回復するための条件が用意されつつあることを意味しています。

日本と韓国の両国が結んできた文化的、学問的交流は、良好な相互理解と信頼の枠組みをつくってきました。それはまた、東北アジアの平和と繁栄の核心的基盤のひとつであるとも言えるでしょう。それゆえ、日本社会学会と韓国社会学会は、両国間のコミュニケーションや交流が長期にわたり萎縮することに対して、深い憂慮を共有します。両国の交流が長期的に停滞することは、日本と韓国のみならず、東北アジア地域全体の平和と共存の回復に対しても否定的な影響をもたらします。両国の学会は、今後、防疫規則を守りながらも、豊かな人的交流をおこなう対面の場を拡大できるように、国境移動の自由が回復されることを求めます。

日本社会学会と韓国社会学会は、これまで長い間、共生と連帯の価値を共有し、どのような状況にあろうとも、互いに協力してきました。両国の社会学者は、文化的学術的交流の積み重ねが、政治的経済的葛藤の只中においても、両国の間に、互いに信頼し合い共感する出会いの基盤を作り出すことを信じます。それゆえ、両学会は、長い間結んできた学術交流のレベルが、パンデミックの後も萎縮しないように努力をしていきます。とりわけ、両国の若い世代が活発に交流し、新たな未来を拓く担い手となるように、力を注ぎます。

日本と韓国の政府も、長期化するCOVID-19への対策、そして痛手を被った両国間の交流回復に向けて、互いに協力をしながら、懸命な施策を講ずることを望みます。これらを通じて、日本と韓国、さらに東北アジアにおける共有理解と共感のレベルが、COVID-19感染拡大以前より一段と高められることを、私たちは確信します。

社会を学ぶ者として、私たちは新たな未来を拓く社会の力を信じます。日韓両国の交流が阻害されることのないように、あらゆる努力がなされることを望みます！

2021年11月6日

日本社会学会会長 町村敬志

韓国社会学会会長 ジャン・ウォンホ